

ステークホルダーとの価値協創

NSKはステークホルダーの皆様の期待や関心に対して価値を協創することで、社会課題解決への貢献と企業としての持続的成長の両立を目指します。

ステークホルダー	期待・関心	エンゲージメントチャネル	アウトカム／KPI*	さらなる価値協創のために
 お客様 機械メーカー、自動車・自動車部品メーカー、代理店・販売店、エンドユーザー	●製品・サービスの品質、価格の適正性、供給安定性 ●技術革新への対応、課題解決、パートナー開発、環境貢献型製品 ●グローバルなサポート、トラブル対応	●日々の営業活動 ●技術交流会 ●展示会 ●共同研究／共同開発 など	軸受シェア世界第3位 環境貢献型製品の開発 246件(累計)	●エンドユーザー視点での新しい価値の協創、提案 ●グローバルな生産拠点を活用した最適地からの供給提案 ▶ P.33 製造資本 グローバルに広がる事業拠点
 従業員 優れた技術、高品質な製品・サービスを創出するグローバル人員	●いきいきと働き続ける職場 ●多様な人材の活用、仕事と生活の両立、働き方の選択肢 ●成長の機会の提供	●マネジャー／チーム対話 ●目標管理、相互確認制度 ●従業員意識調査 ●社内決算説明会 ●研修、自己啓発セミナー など	従業員における多様性比率(日本)女性、外国籍、キャリア採用 29% 女性管理職比率(日本、国内単体) 2.5% 休業度数率(グローバル) 0.28 両立支援:育児休業取得率 女性 100%、男性 83.3% 役員に占める経営大学・グローバル経営大学卒業生比率 65%	●経営層との対話機会の充実 ●多様な働き方に向けた制度の見直し ●従業員意識調査結果に基づく改善活動の推進 ●教育研修制度のさらなる充実 ▶ P.34-37 人的資本
 サプライヤー 原材料、部品のグローバルな調達先	●公正・公平・透明性のある安定した取引 ●社会・環境に配慮した取引 ●共同開発(材料、部品、グリースなど)や品質向上を通じた共存共栄 ●災害発生時の連携	●日々の調達活動 ●調達方針説明会 ●NSKサプライヤー ●CSRガイドライン など	人権デューデリジェンス実施 ※ CSR診断の中で実施 ●サプライヤーのリスク評価・支援を計画的に実施 ●サプライヤーCSR診断を2年に1回、約9割のサプライヤーを対象として実施	●サプライチェーン全体でのCSRマネジメントのレベルアップ ▶ P.41 サプライチェーンマネジメント
 地域社会 事業活動を通じた共存・共栄	●雇用の創出／地域の発展への貢献 ●地球環境・地域環境の保全 ●安全操業、騒音への配慮	●地域社会貢献活動(寄付、クリーンアップなど) ●工場祭等の地域イベント、福祉への協力 など ▶ P.39 安全マネジメント	温室効果ガス排出量 -51.7%削減	●安心・安全の理解促進と信頼性向上のための交流機会の増加 ●地域貢献活動の充実 ▶ P.39 安全マネジメント ▶ P.42-49 環境マネジメント
 次世代 NSK理念の実現と社会の持続的成長を担う人材	●豊かな地球環境と安定した社会の継承 ●未来の社会を担う次世代の成長のための機会創出、提供 ●モノづくりの楽しさ、大切さの伝承	●NSKメカトロ財団 ●NSK奨学財団 ●子ども向け科学教室 ●子ども向け資料(まんが、絵本、技術紹介) など	NSK奨学財団による支援実績 奨学生累計人数 47名 子供向け科学教室実施	●長期的視点に立った次世代人材育成支援強化 ●NSK奨学財団を通じグローバル人材の育成とアジア留学生支援によるアジア地域活性化支援
 株主・投資家 財務資本の提供と経営の監視	●将来キャッシュ・フローの最大化 ●資本コストを上回る株主リターンと適正株価の実現 ●公正・公平、かつタイムリーな情報提供と真摯な対話 ●CSR／ESGへの積極的な取り組み	●株主総会 ●株主工場説明会 ●決算説明会 ●個別IRミーティング ●事業説明会 など	年間配当金 年間30円/株(FY2024予想 年間34円/株) 配当性向 173.8%(目標 30-50%) DOE 2.4%(2.5%を下限の目安) 10年TSR 1.2%(年率)、12.9%(累積)	●経営方針・戦略・ESG取り組みに関する理解促進 ●適正な株価形成、中長期視点でバランスの取れた株主構成の実現 ●株主・投資家とのエンゲージメントの充実 ▶ P.26-29 CFOメッセージ

※ 数値はFY2023末までの実績